

日本とニュージーランドの宗教の違い

小野山 ここ

私はニュージーランド滞在中に、宗教による日本とニュージーランドの生活の違いをとでも強く感じました。

日本は無宗教です。そのため、宗教的に食べることができないものや決まりがありません。しかし、ニュージーランドはかつてイギリスの植民地であったため、キリスト教を信仰している人が多数です。

実際に私のバディはキリスト教信者で、通っている学校（ヴィラマリアカレッジ）もキリスト教の学校だったため、日本での過ごし方との違いがたくさんありました。

【食事】

日本：鶏肉、豚肉、牛肉、魚、野菜など、いろいろなものを食べる。

食べる前に「いただきます」、食べ終わると「ごちそうさまでした」と言う。

ニュージーランド：キリスト教信者は豚肉、牛肉、ラムは食べない。ハムやソーセージなども食べない。鶏肉、魚、野菜を食べる。

食べる前に十字架のしるし「父と子の聖霊のみ名によって、アーメン。」

と言い、額→胸→左肩→右肩に手を置いた後、胸の前で合掌をする。

私のホストファミリーではバディだけがキリスト教信者であり、母や父、妹、弟は日本と同じようにいろいろなものを食べていた。

【建築物】

日本：神社や寺が多いが、教会もちらほら見かける。

ニュージーランド：大聖堂や教会がある。

↳クライストチャーチ大聖堂は 2011 年の大地震によって大部分が倒壊し、現在も再建中。2012 年に仮設大聖堂が建設された。

ほかにも、セント・メアリー教会など数々の教会がある。

【学校】

日本：無宗教のため、教会の部屋や祈りの習慣はない。

ニュージーランドのキリスト教の学校（ヴィラマリアカレッジ）

：学校に祈りの部屋があり、正門前に大きな十字架がある。

月曜の集会では全校で十字架のしるし（「父と子の聖霊のみ名によって、アーメン。」

と言い、額→胸→左肩→右肩に手を置いた後、胸の前で合掌）を行い、歌を歌う。

（マオリの歌を歌う人もいた）



【授業】

日本：社会の授業で宗教について少し触れる。

宗教的な行動は特にはない。

ニュージーランドのキリスト教の学校（ヴィラマリアカレッジ）

：宗教の授業がある。

授業中に十字架のしるし（「父と子の聖霊のみ名によって、アーメン。」と言い、額→胸→左肩→右肩に手を置いた後、胸の前で合掌）をする。（日本語の授業では日本語でしていた）

【その他】

ニュージーランドのキリスト教の学校の生徒は、首に十字架のネックレスをかけている。

[感想]

私は今まで”宗教“というものを深く考える機会がなかったため、この2週間のニュージーランド滞在で新しい文化を見ることができてとても面白かったです。宗教は家庭生活から学校生活まで様々な場面で行動に違いを生んでおり、興味深かったです。今までの自分にはなかった考え方や物事のとらえ方を知り、多様性について考える機会になりました。

今度はバディに日本の生活をたくさん体験してもらい、お互いに異文化での気づきを共有できたら面白いだろうと思います。